

2016(平成28)年3月期 第1四半期決算補足資料

(2015年4月1日～2015年6月30日)

1. 2016.3期 第1四半期実績

(百万円)

	'16.3期1Q 実績	'15.3期1Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	7,762	7,577	+185	+2.4%
営業利益	883	1,187	-303	-25.5%
経常利益	1,377	1,549	-172	-11.1%
四半期純利益	1,032	1,251	-218	-17.5%
研究開発費	1,778	1,615	+162	+10.1%
研究開発費率	22.9%	21.3%	+1.6pt	-
営業利益率	11.4%	15.7%	-4.3pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	18.18	22.02	-3.84	-
期中平均レート(1US\$/円)	121.37	102.16	+19.21	-

<第1四半期実績と前年同期実績との差異要因>

売上高: 国内医薬品の減少を円安効果や海外医薬品の販売数量増でカバーし増収。なお、売上高全体への円安効果(+185)は、約+4.1億円。

・国内アルツは、市場全体が横ばいで推移するなか、医療機関納入本数は+0.6%と微増ながら引き続き増加。当社売上は前年同期に出荷前倒しによる増加があった反動を受け、減少。

・米国向けスバルツは、3回投与の競合品が引き続き売上を伸ばしており、現地販売は微減。当社売上は円安効果もあり増加。

・中国向けアルツは、医療機関の購入動向にばらつきがあり、現地販売がほぼ横ばいに留まる。当社売上は販売提携先が在庫水準を高めたこともあり増加。

・米国向けジェール・ワンは、現地販売、当社売上ともに増加。2015年5月に北米戦略室を新設し、営業支援活動をレベルアップさせるとともに、6月の販売提携先合併の機をとらえ、営業力強化を図る。

営業利益: 高萩工場第5製剤棟減価償却費の増加などによる売上総利益減少に加え、米国SI-6603等の開発テーマ進展による研究開発費の増加もあり、減益。なお、減価償却費は772百万円(前年同期比+175百万円)。

四半期純利益: 営業外収益において円安に伴う保有外貨建資産の為替評価益を計上したが、前期にあった一過性の税率低減(-218)要因(米国子会社有償減資)が終了し、減益。

2. 2016.3期 第1四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'16.3期1Q 実績	'15.3期1Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'16.3期予想	'15.3期実績
【医薬品事業】	6,317	6,246	+70	+1.1%	25,400	24,646
国内医薬品	4,388	4,560	-171	-3.8%	16,950	16,898
海外医薬品	1,607	1,307	+300	+23.0%	7,100	6,339
医薬品原体	321	379	-57	-15.2%	1,350	1,407
【LAL事業】	1,445	1,330	+114	+8.6%	5,250	4,876
合計	7,762	7,577	+185	+2.4%	30,650	29,522
(海外売上高)	2,738	2,309	+428	+18.6%	11,150	9,997

3. 通期業績予想と進捗率 (2015年5月12日に公表しました予想に変更ありません)

(百万円)

	'16.3期 予想	'15.3期 実績	前期比		'16.3期1Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	30,650	29,522	+1,127	+3.8%	7,762	25.3%
営業利益	2,400	2,383	+16	+0.7%	883	36.8%
経常利益	3,800	4,008	-208	-5.2%	1,377	36.3%
当期(四半期)純利益	2,900	3,650	-750	-20.6%	1,032	35.6%
研究開発費	7,850	8,146	-296	-3.6%	1,778	22.7%
研究開発費率	25.6%	27.6%	-2.0pt	-	22.9%	-
営業利益率	7.8%	8.1%	-0.3pt	-	11.4%	-
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	51.05	64.27	-13.22	-	18.18	-
期中平均レート(1US\$/円)	118.00	109.94	+8.06	-	121.37	-